

# 第50回 SIC 定例会のご報告

於： 2006年7月30日（大阪：ザ・リッツ・カールトン大阪）  
2006年8月1日（東京：帝国ホテル東京）

## 1. 増田俊男の経済講演(カセットテープ提供)

- ★ 基軸通貨ドルの今後とユーロの動向
- ★ ロシア・中国の行方
- ★ 米国の戦略、インフレの真のカラクリとは？
- ★ 米国の利上げに見る今後の株と為替の動きとは？

## 2. 江尻真理子より開会のご挨拶とご報告

- ★ 増田俊男著「史上最大の株価急騰がやってくる」（ダイヤモンド社）が台湾の財訊出版社からの強い要望により中国語で出版された。増田俊男の顔の入った広告が台湾のバスの外観にプリントされて街中を走っていることもあり、一躍有名人(?)に。  
台湾講演及びツアープランについてのご連絡をした。
- ★ ハワイツアー(11月7日～6泊8日・11月8日～5泊7日)の盛り沢山プラン内容についてご説明。今年のツアーではベイビュー・ゴルフコース見学をツアープランに盛り込むことを検討中。
- ★ サンラ・コーヒーは、贈答用にも使える様々なアイディアのパッケージが加わって、販売中。旅行誌「るるぶ」への広告には今後デューティーフリーのロゴが入り、サンラブランドが一層拡大される。
- ★ 増田先生の先日のワシントン訪問では、上院・下院の外交委員長と北朝鮮、中東情勢につき意見交換、有意義なミーティングが行われた。また、今後日本の投資家の情報管理センターになるサンフランシスコのジョー・ウェクターのオフィスを訪問。スクリーン上でオフィスの写真もご紹介した。

## 3. Arius3D, Inc. IPO への進捗状況

- ★ まず、Arius3D, Inc.社長の Breukelman 氏より日本語で IPO の進捗状況の発表が行われたので、その全文を以下掲載。  
「こんにちは。今日は Arius3D, Inc.についていいニュースをお知らせしたいと思います。待望の IPO が 2007 年 4 月になることがほぼ確実になりました。みなさまとともに、喜びたいと思います。ニューヨーク証券取引所の重役たちと、電子部門の責任者との度重なる交渉の結果、売り上げをもう少し伸ばせば、あとは何の問題もないところまでこぎつけました。最初は Arius3D の株を持ってくれる投資家を探すのは大変でしたが、今は株を持たせてくださいと大勢の投資家が押し寄せています。  
Hope Technology という会社は Arius3D の技術をペンタゴンや CIA に売り込んでくれている会社なので 420 万ドルの投資を受け入れることになっていました。ところが払込期日の 6 月 30 日に振り込まなかったため、もし 8 月 5 日までに振り込まれなかったら、他の投資家に回すと通告したところですが、Hope Technology がおりたら、一番最初に皆様にチャンスをおさしあげます。  
今回の成功は増田先生と真理子さん、なにより投資家のみなさまのおかげです。一緒に大きなキャピタルゲインを手にししましょう。  
皆様に感謝して、私の事務所には SIC 定例会で撮ったみなさまの写真を飾って、毎日挨拶しています。」

★ **ARIUS3D,Inc.**の IPO プロセスの詳細は下記の通りである。

- ・ 本年 7 月約 2 週間にわたって中国の北京紫禁城でスキャニング・デモンストレーションが行われ、宝物をスキャンして、紫禁城宝物 3 D イメージ・ライブラリーを作るようになった。
- ・ 韓国は HUHU Corporation との業務提携で韓国でも博物館関係の 3 D イメージ・ライブラリーの営業が韓国で開始されるようになった。
- ・ 7 月 27 日から 31 日まで東京のカナダ大使館で一般 (SIC 会員を含む) と専門家向けに 3 D スキャニングのデモンストレーションが行われた。大手博物館やアニメ・プロダクションの企業などから強い関心が寄せられた。既に有名博物館と契約交渉中である。いよいよ東京進出に向けて弾みがついてきた。現在スキャニングのデモが出来る展示場所を都内に物色中。
- ・ 5 月の Arius3D, Inc. と NYSE (NY 証券取引所) の最終会議で IPO 必要条件はほぼクリアされた。8 月 10 日江尻眞理子社長、増田先生、Breukelman Arius3D,Inc. 社長、Greg.Morey、IPO 担当重役と NYSE の担当責任者役員 (3 名) との会議で Arius3D から売り上げ増達成の報告をする。
- ・ 9 月 20 日に投資銀行 (IPO 責任管理証券銀行) を指名して、すべての準備を完了する。
- ・ NYSE から売り上げの過小を指摘されていたが、会計担当重役の Jim Mcglone 氏のギリシャの博物館施設やフランスのルーブル美術館との契約成立、また Breukelman 氏による紫禁城の 3D ライブラリーの売上貢献などで、NYSE から指摘された条件をクリアする。
- ・ これで 2007 年 4 月の IPO が益々順調になった。
- ・ 米国の国防総省や CIA に Arius3D の技術を売り込んでいる Hope Technology, Inc. は \$ 4,200,000 の増資引受けをしており、払い込み期日が 6 月 30 日であったが、実行しなかったため、かねてから増資引き受けを強く希望している投資ファンドに、8 月 5 日をもって切り替えることになった。(100%は無理だが、SIC メンバーを最優先に考える。)
- ・ 2007 年の IPO の確実性から多くの投資ファンドから投資希望が入っている。

#### 4. **Sunra Coffee LLC プロジェクト最新情報**

Sunra Coffee LLC マネージャー、マイク・ネコバ氏と海外事業部 熊谷による報告

- ★ 道路、電力、上下水道などのインフラ設備はすべて工事完了。
- ★ 分譲地の新名称とロゴが「ロイヤル・ファアラライ・ガーデン」に決定し、パンフレット、分譲価格、売買条件等、販売準備が完了した。
- ★ 大手開発会社から (コストより 10%アップの) 一括購入のオファーが来ているが、Clark Realty(総販売会社)は強気であるため、保留にしてある。工事関係ではお化粧品にあたるランドスケープの完成だけを待っている状態。

#### 5. **Bayview Golfcourse**

- ★ ゴルフ場 (リゾート) から宅地への地目変更作業は順調に進んでいる。すでにくつかの投資グループや複数の開発業者から一括購入のオファーが入っている。一括では売らず、10 区画前後のグループ別販売で資金・利益回収を急ぐ予定。
- ★ 屋根付きの練習場を改良し、毎月の売上がすでに 3 ヶ月間 100%のピッチで伸びている。
- ★ 施設の改良工事と同時に備品修理等で更なる売上向上を目指している。

#### 6. **BanXCard,Inc. と PhotoWorks,Inc.**

SCH CEO のジョー・ウェクター氏より SCH 投資先の一つである BanxCard, Inc.と毎期本命のデジタル分野の売り上げを 100%のピッチで伸ばしている急成長中の Photoworks についてビッグ・ニュースの発表があった。

### 【BanXCard,Inc.】

- ★ BanXCard,Inc.は米ナスダック市場上場のジェンテック社による買収に合意。買収後はBanXcard, Inc.の1株につきジェンテック社株式2.5株が与えられる株式交換合意が締結された。
- ★ 元NBAスター選手のマジック・ジョンソン氏との契約によりBanXCardから「マジック・ジョンソンカード」へ名称が変更されることになった。ジョンソン氏にはスポークスマンとして活動してもらうことになったので、劇的なカードの普及・販売促進が見込まれることになった。

### 【Photoworks,Inc.】

- ★ 30年前から現像専門(DPE)専門企業であったが、これを脱皮。現在は業界に先駆けてすべての業務をデジタル化、オンラインサービス展開で業務を拡大している。
- ★ カードやカレンダー、本などのオンラインサービスによる売上は日増しに増大している。とくにクリスマスシーズンの売り上げは飛躍的になっている。
- ★ もはやデジカメは一般的であり、また利用者の多くは撮った写真の管理が難しくなっていることから需要が増大し、売り上げに貢献している。
- ★ 業界では、Photoworks, Inc.は第二位の座を占めており、当社より弱小の会社が最近\$30Mで買収された。約\$10Mの資本金の当社の買収価格は想像を絶する価格になると思われる。
- ★ 今後は(24/7の初期と同様)IRを年末から開始、市場をSecondary Market(機関投資家が売買できる上位市場)に移管するので2007年からは売買高と株価が上昇すると思われる。
- ★ M&Aは株価の上昇を待って受ける予定。
- ★ Photoworks, Inc.がSCH株主利益への貢献は甚大となる。

## 7. SIH(サンラ・インターナショナル・ホールディング)について

海外事業部 熊谷よりご説明

- ★ SIH(サンラ・インターナショナル・ホールディング)はSIBTC(サンラ国際信託銀行)が米国銀行法によってハワイでの融資業務が出来ないことからSIBTCの100%持株会社、Sunra International Holding Ltd. (SIH)を作り、SIBTCの債権債務をすべて移管しました。その結果SIBTCはパラオの銀行ライセンスのみを持つ、いわばペーパーカンパニーとなりました。そこで、パラオ政府の許可が下り次第、ライセンスだけを第三者に譲渡することにしました。  
先般開催されたPGI株主総会でPGI株式とARIUS3D株式が1対1で交換することが決まり、実行されたため、我々はパラオから事実上撤退したことになります。6年間にわたるパラオでの経験から、あまりにもカントリーリスクが多いことが分かったための決断です。

## 8. 今後の管理体制について(詳細は添付カセット・テープによる説明と資料参照)

海外事業部 熊谷よりご説明

- ★ 今後SIC(サンラ・インベストメント・クラブ)を解散し、株主と投資先を直接結びつける縦割りの管理体制にすることになりました。最近の投資組合の情報開示義務を定めた諸法の立法化により、従来SICで行ってきたサービスが難しくなりました。従来のSICミーティングと異なり、今後株主と投資先企業との直接ミーティングになります。各ミーティングの日時や組み合わせを上手にすることにより、従来のSICミーティングの「よさ」(増田先生の講演やお知り合い同士会うことなど)を継続しながら、株主対企業の権利義務を明確(お手持ちの株券・証書等は投資先直接発行証書となるなど)にして、両者のより緊密な関係が維持されるような形態にしようというものです。株主と企業の直接的関係にあたっての言語上の問題や、各種情報交換等についてのサポート機関(専門サービスセンター)等の詳細については後日別途説明書をお送りいたします。